

聴く・おがわ防災

KeyWord
あなた|の|知|ら|ない|危|険

リスク



小川町議会だよりは

町民登場にコダワル！

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます（裏表紙もご覧ください）。

次ページへつづく



昨年の台風19号では1,443人が避難場所を利用。議会にいただいた多くの声をもとに、改めて確認・活用してほしい情報をピックアップし、町民の皆さんに聴いてみました。



自宅にいます

台風被害は無いと思うし、室内で犬を飼っており、コロナ感染も心配なので自宅にいると思います。地震で家が全壊したら避難所に行くことを考えますが…

今井和夫さん（東小川4）

避難する？

警戒レベル

警戒レベルのことはよくわからないですが4や5になると危険という感じですかね。新しいハザードマップはわかりやす

いですよ。

本倉絵璃奈さん（春日町）

ハザードマップは

わかりやすくなつた新しいハザードマップはこちら！

→避難とは「難を避ける行動をとる」こと。「Withコロナ時代」を考えると、自分に合った避難場所を想定する必要があります。

指定緊急避難場所（一時的に難を避ける場所）と、避難所（一定期間避難生活をする）の違いにも注意してください。

台風19号では、避難はしたもの「パトリア」にも水が上がってくるのでは」と、ビヤビヤしました。Wi-Fi環境もなくて、不便でしたね。

浅見久美子さん（腰二）

ビヤビヤしました

指定緊急避難場所

40年で初めて40年近くここに住んでいて、初めての出来事でしたね。道路工事の影響とも思いますが、もう少し降り続いたら床下浸水になつたかもしれません。黒沢雪雄さん（高見）

→積乱雲が連続して発生して線状に並び、経験したことのない大雨になります。

県のサイトも活用して、適切な情報収集に心がけましょう。

埼玉県土砂災害警戒情報システム

QRコード

台風19号の後で、子育て支援センターの講座で配布した「子育て版持出品」を参考にして色々そろえました。コロナ禍の持出品一覧もぜひ作ってほしいです。

松本啓一郎さん（木呂子）

小寺美沙子さん（青上）

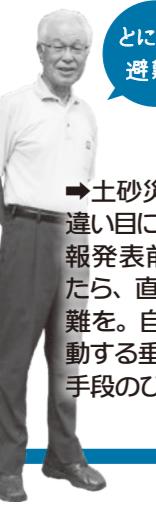
そろえました

持出品備蓄品

→持出品・備蓄品は「いつも身の回りで必要なモノ」が、もしもの備えになります。

常に一定量の食料等を家に備蓄しておく「ながら備える（=ローリングストック）」に心がけ、万が一の際にも慌てないよう心がけましょう。

（=ローリングストック）



とにかく避難！

土砂災害の可能性を感じたら、ご近所で声を掛け合い、とにかく安全な場所に避難します。

松本啓一郎さん（木呂子）

→土砂災害の前兆は、水害と違い目に見えません。警戒情報発表前でも異変に気づいたら、直ちに安全な場所に避難を。自宅等の2階以上に移動する垂直避難なども有効な手段のひとつです。

土砂災害



台風19号…あれから1年

「できていますか？」 命を守る備え

地球温暖化による影響で、短時間豪雨や大雨、土砂災害、水害の発生頻度が増加しています。

当町でも、昨年の台風では大きな被害を受けました。

あれから1年…「小川町は安全なところだ」という安全神話にあぐらをかくことなく、これから訪れる台風シーズンに備え、命を守る行動をとりましょう。

安全神話に

クエスチョン

編集委員は、写真家やジャーナリストではない。もし、町民の人命が失われていたならば、恐らくこの写真はお蔵入りしていただろう。あと数時間、いや、あと数十分、台風19号が停滞していたら…。そんな想像力が、新たな防災対策と防災意識の向上に繋がる、と思い掲載しました。（2019年10月12日 15時30分撮影）



指定緊急避難場所の見直し

廃止

角山中区集会所・朝日区民センター

追加

櫻台中体育馆